

知識を知恵に変える方法（その4）

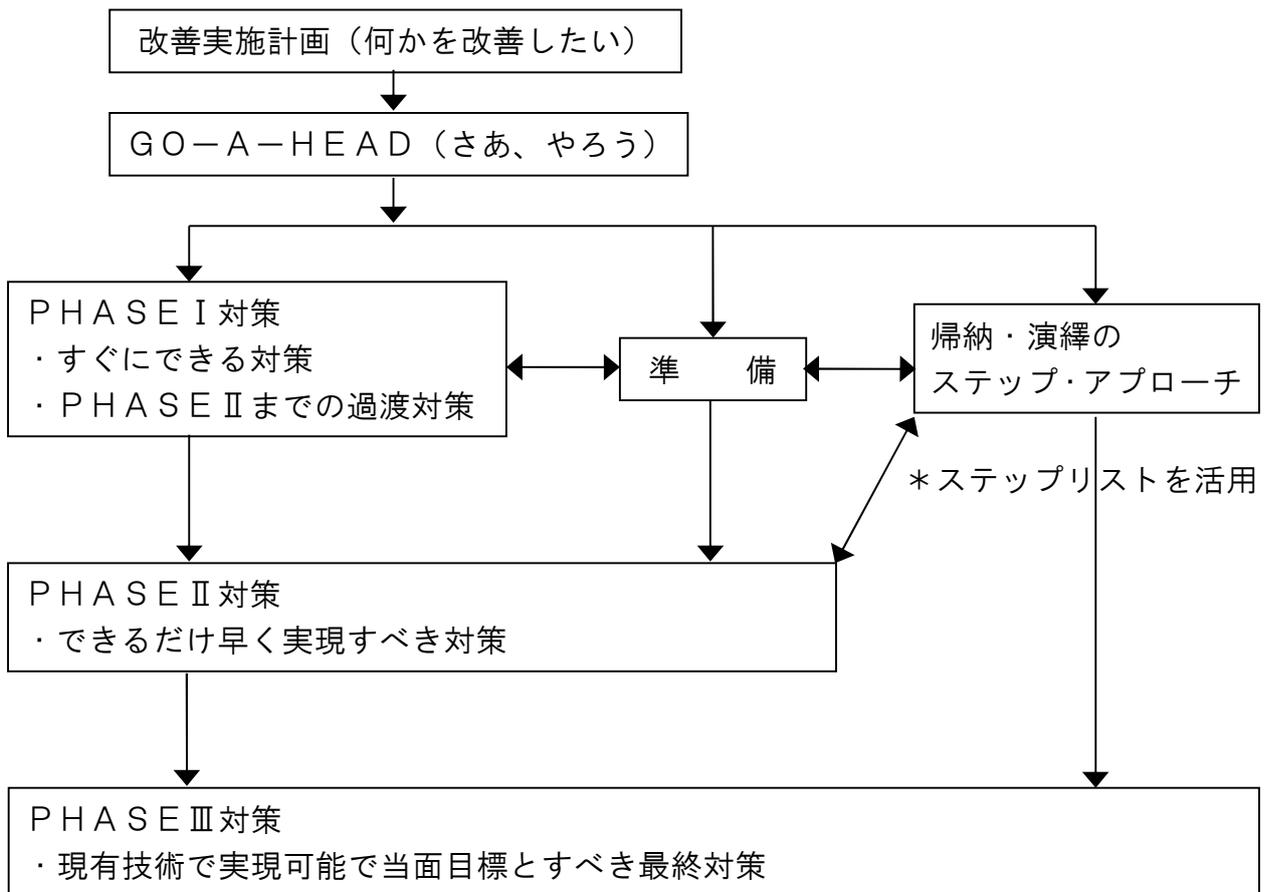
- 【Ⅰ】 差の情報によって意思決定する。
- 【Ⅱ】 価値の方向とキーワードを目に見えるようにする。
- 【Ⅲ】 落ちのない段階的な手順を創り出す。
- 【Ⅳ】 「何を」の対象の構造・構成イメージを創り出す。
- 【Ⅴ】 これを実現するための体制と手順を示す実施計画書を創り出す。

【Ⅲ】 落ちのない段階的な手順を創り出す。

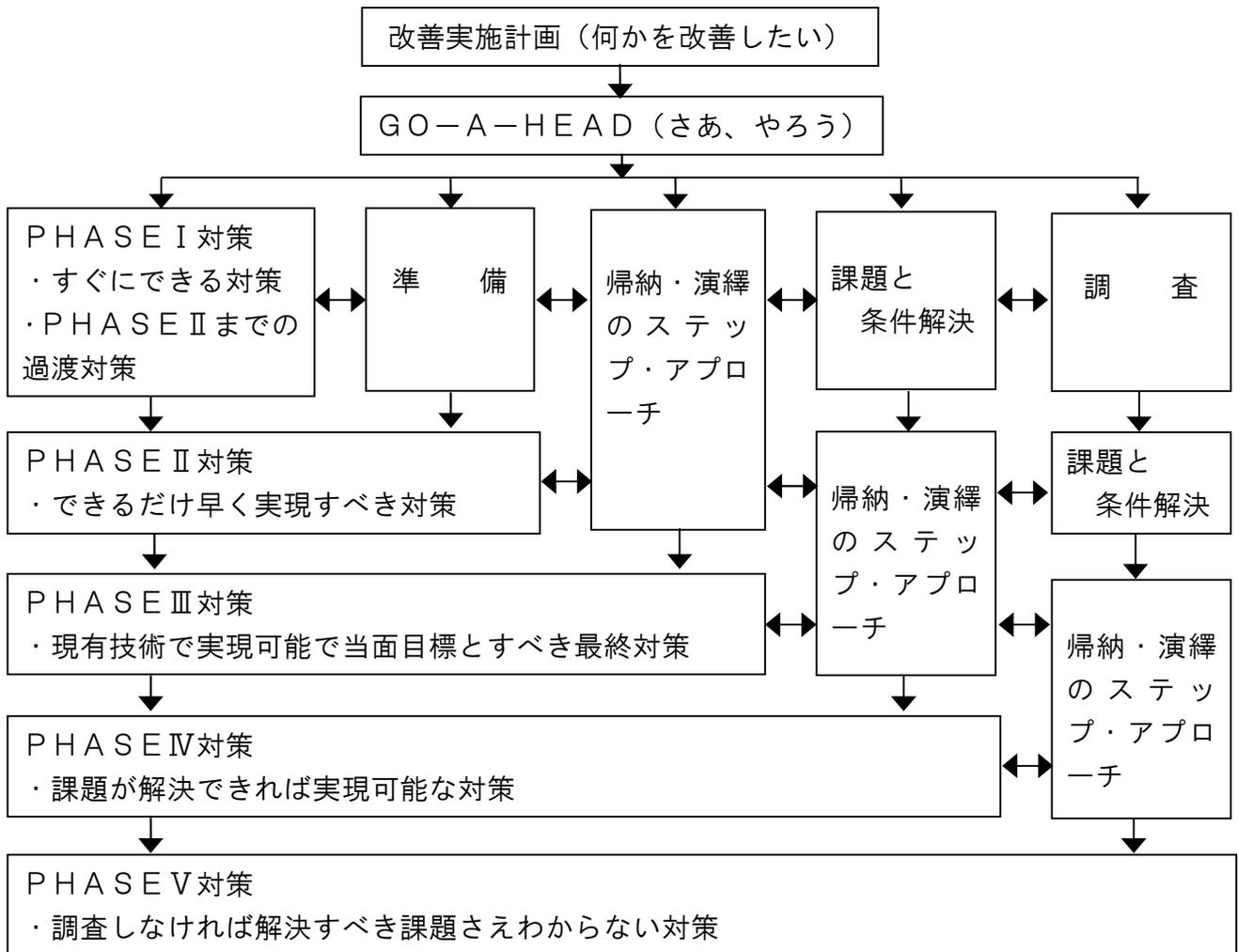
落ちのない手順を創り出すうえで、現状からの改善対策を打ち出しながらアプローチを展開することが多い。その際、先に説明したステップリストと連携しながら進める手法として「3-5フェーズ・インブルーメントの方法」を紹介する。

これは日頃の業務をどう進めるかで悩んだときなどに役立つものである。

日常業務の課題などに適用した場合



さらに複雑で長期的な課題の時は、先の基本形にさらに必要な整理をして付加すれば意外に楽である。



要するに PHASE III までの対策では不十分とした場合 PHASE IV・V と進めば解決へ向けて少なくとも進むことになる。

すなわち、3 から 5 程度に区分して具体的に改善作業を行うことで目的を達することが可能なのである。

「おいしい飯を炊く」が「おいしくて店に出せるぐらいの五目飯が炊ける」に発展するかもしれないのである。

(以下次号)